

26/02/13

ヒグマの生態と被害対策

合同会社ワイルドライフプロ
代表 葛西 真輔

自己紹介

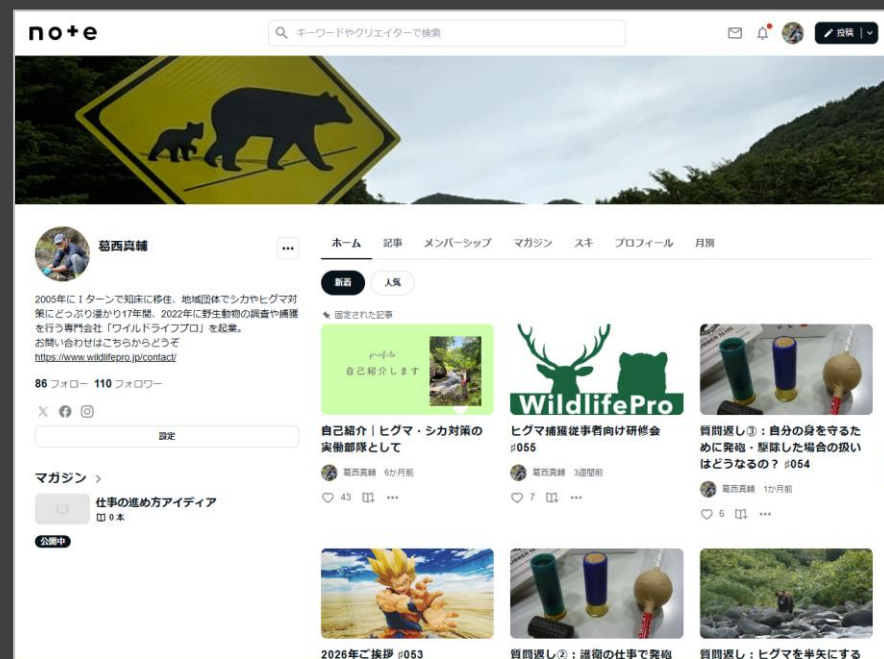


- 名前: 葛西 真輔
- 所属: 合同会社ワイルドライフプロ(2022~)
- 経歴:
 - 公益財団法人知床財団(2005~2022)
 - 日本クマネットワーク(2002~)
 - 北海道猟友会斜里支部(2006~)

大学→地域団体→自身の会社、ヒグマに関わって25年
捕獲従事者(銃・わな)としても活動

クマ対策は、普及啓発・調査・防除・捕獲まで幅広くカバー

活動範囲は道東中心、対象はエゾシカ・ヒグマ等の大型野生動物



50Sec 2022/06/27 05:57:12



ヒグマ対策をめぐる現況

- 保護政策は成功
 - 人身事故の増加、出沒急増、被害の増加
 - これまでの「保全」→「個体数管理」へ移行 ※絶滅させる話ではない
 - 年によって大量出沒、多数を捕獲
 - 現場は対応しきれない、対処可能できる状況まで数を減らしていくこと
 - 目標は15～30年ほど前の生息状況(北海道)
- 捕獲作業にマンパワーは必要だが…
- ヒグマの捕獲作業はリスクを伴う

内容

- ヒグマの生態と生息状況
- ヒグマ被害の実際と対策
- 捕獲作業について



興味・関心を持ってもらう
リスクを認識してもらう

可能なら、
この分野での活動をスタートして欲しい

狩猟は面白い！

- 狩猟の魅力

- 獲物との駆け引き

- 人類の根源的行為

- ドキドキ、ワクワクがある

- 最高の食材を手に入れることができる

狩猟と有害捕獲(駆除)は
まったく異なる！

ヒグマのからだ

知床で捕獲された 最大級のヒグマ

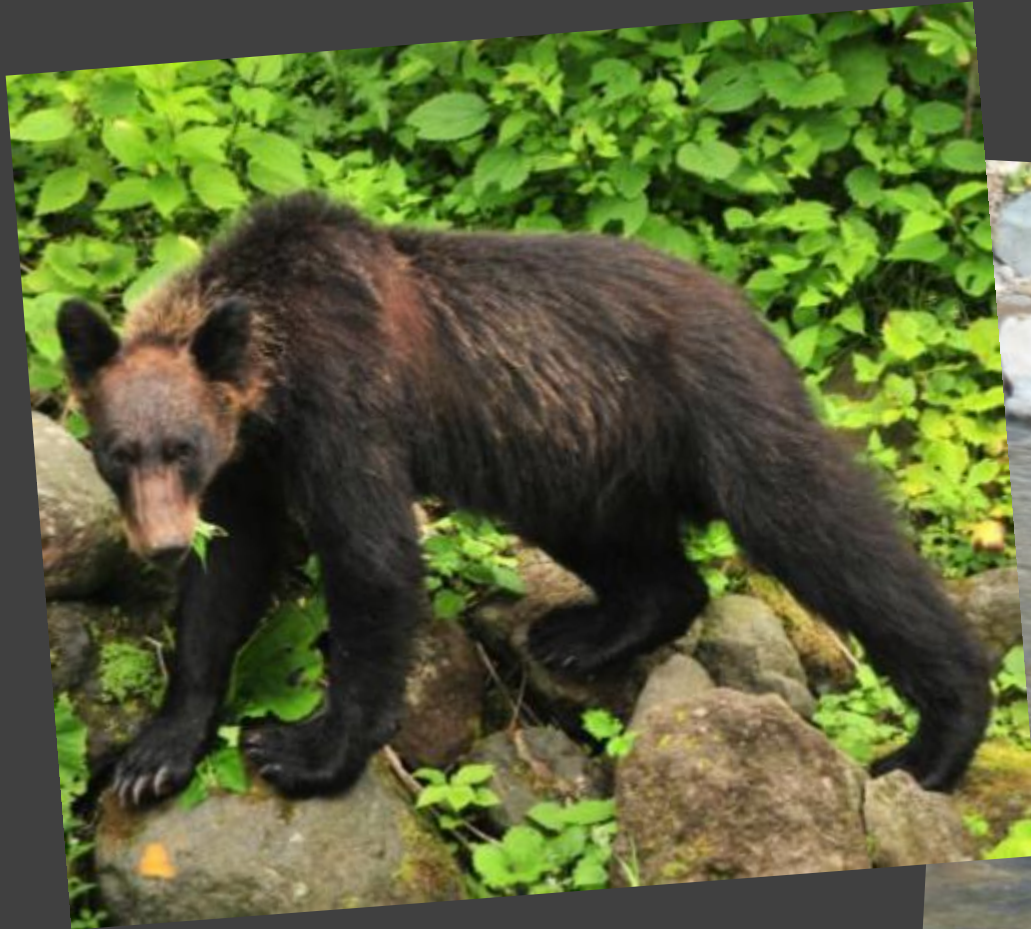


2002年11月2日、知床半島の斜里岳山麓で捕獲されたオス

青果物受入票		受入No. 1417
No. 13-14.11.2		
車番	1	
コード氏名		
銘柄	人妻 玉葱	とろ
総重	10:19	1230kg
空車	10:28	830kg
正味	400kg	
コンタ	0kg	
混引	0kg	
補正味	400kg	
等級・規格	出来高数量	計量日付
		備考
2-L		
L		
M		
S		
2-S		
B		
C		

①生産者(受入) JA斜里町

年齢による外見の違い



若いヒゲマ

50kg～70kg





ヒグマのからだ

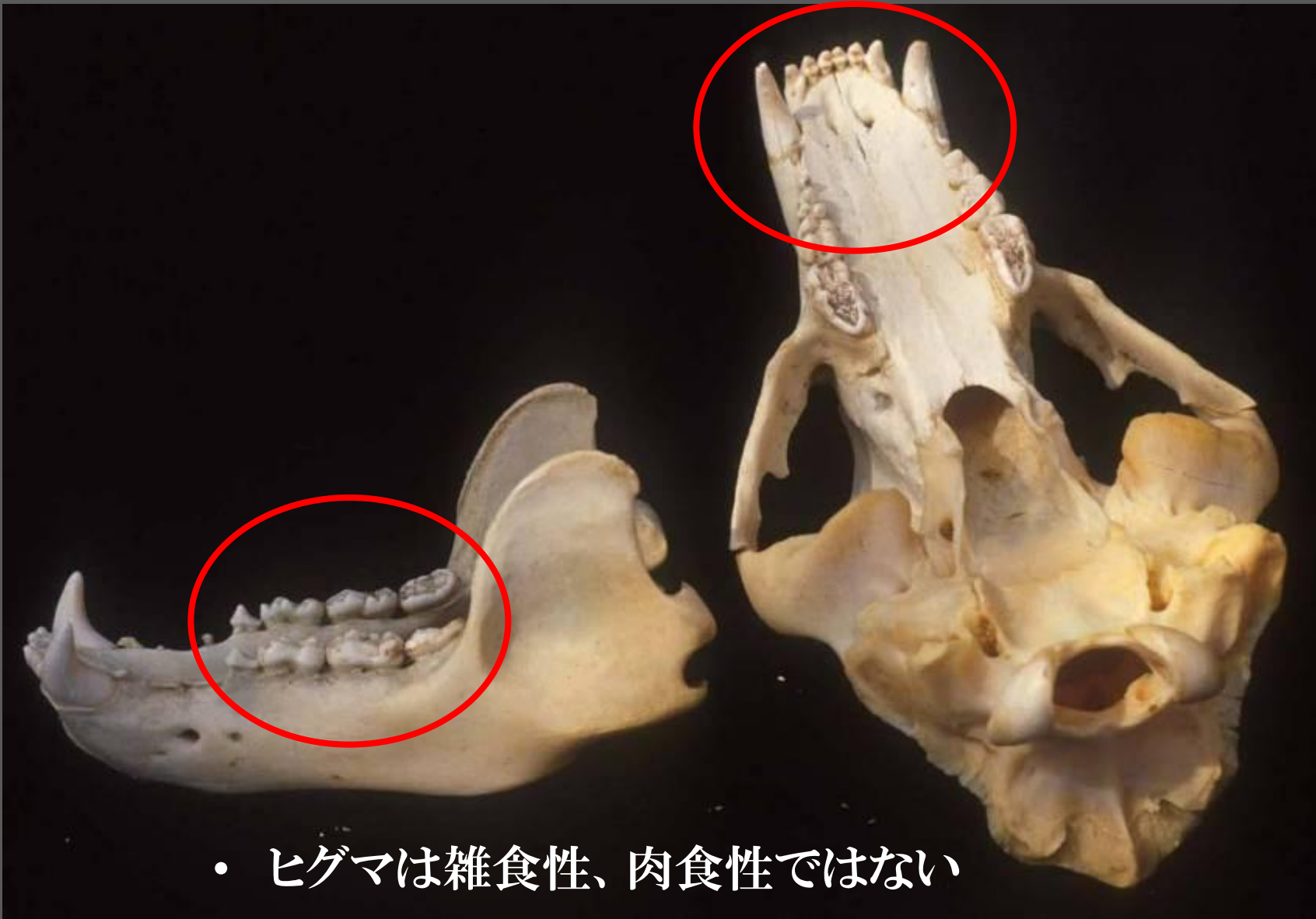


メス成獣クラス

ヒグマ

100～150kg

歯



- ヒグマは雑食性、肉食性ではない

手足・爪



前



後

体色



体の色はさまざま

胸部 斑紋



胸に白い斑紋がある個体もいる

ヒグマの生活

—ヒグマがいる場所は
食べ物がある場所—

春

- 3～4月に冬眠から明ける。

春



夏

交尾期を迎える
(1年で唯一オスとメスが一緒にいる)

- ミズバショウ
- フキ
- エゾヤマザクラ
- タモギタケ
- アリ
- セミの幼虫
- ハイマツの実
- コケモモ



秋

ヒグマの生活



冬眠に向けて大量に食べる季節

冬

ヒグマの生活



ヒグマの生態と生息状況

ヒグマの生息状況

ヒグマの分布

全道に分布

2003年度と2018年度で比較

赤：2018年度調査のみで生息情報が
得られたメッシュ



分布は**拡大傾向**

環境省ホームページ、「クマ類の出没対応マニュアル」より
<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/>

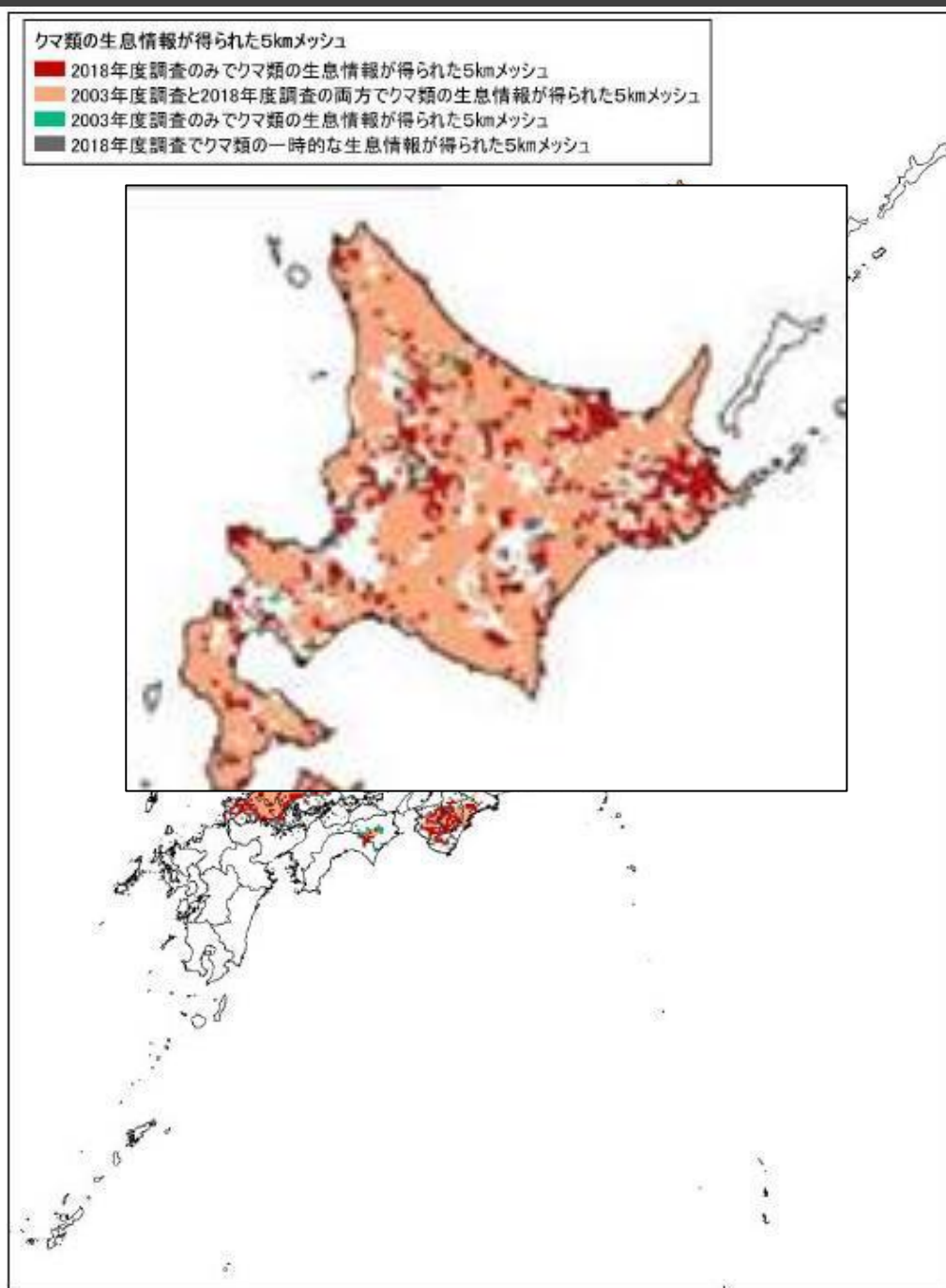


図 4-2-6 クマ類の分布図

ヒグマ生息数

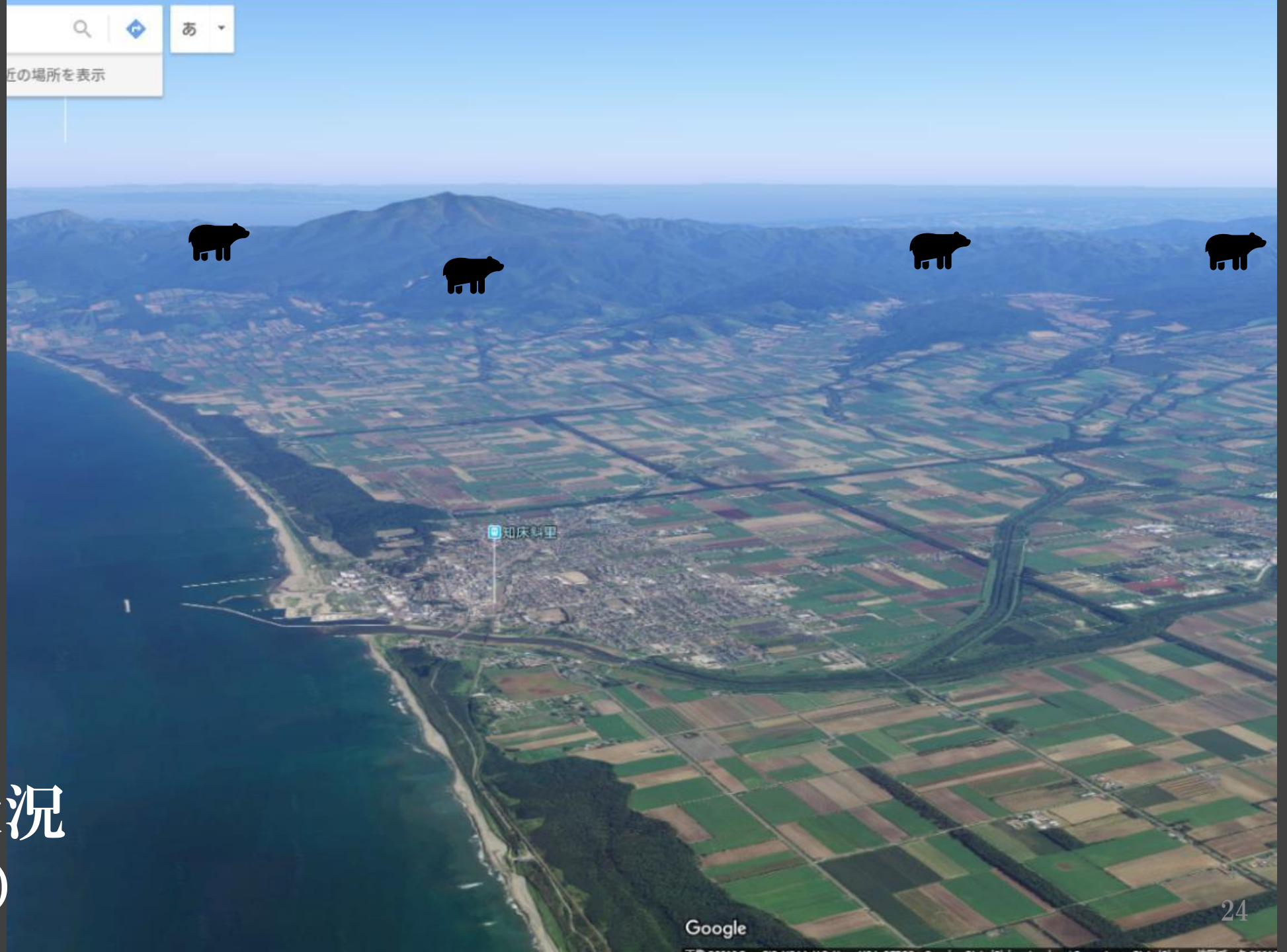
- 平成2年度の全道のヒグマ生息数
5200頭(95%信頼幅3800~7000)頭と推定
- 令和2年度は、
11700頭(95%信頼幅6600~15900)頭と推定
- 平成2年度以降、全道のヒグマ生息数はおおむね
増加傾向

* 北海道環境生活部の資料から



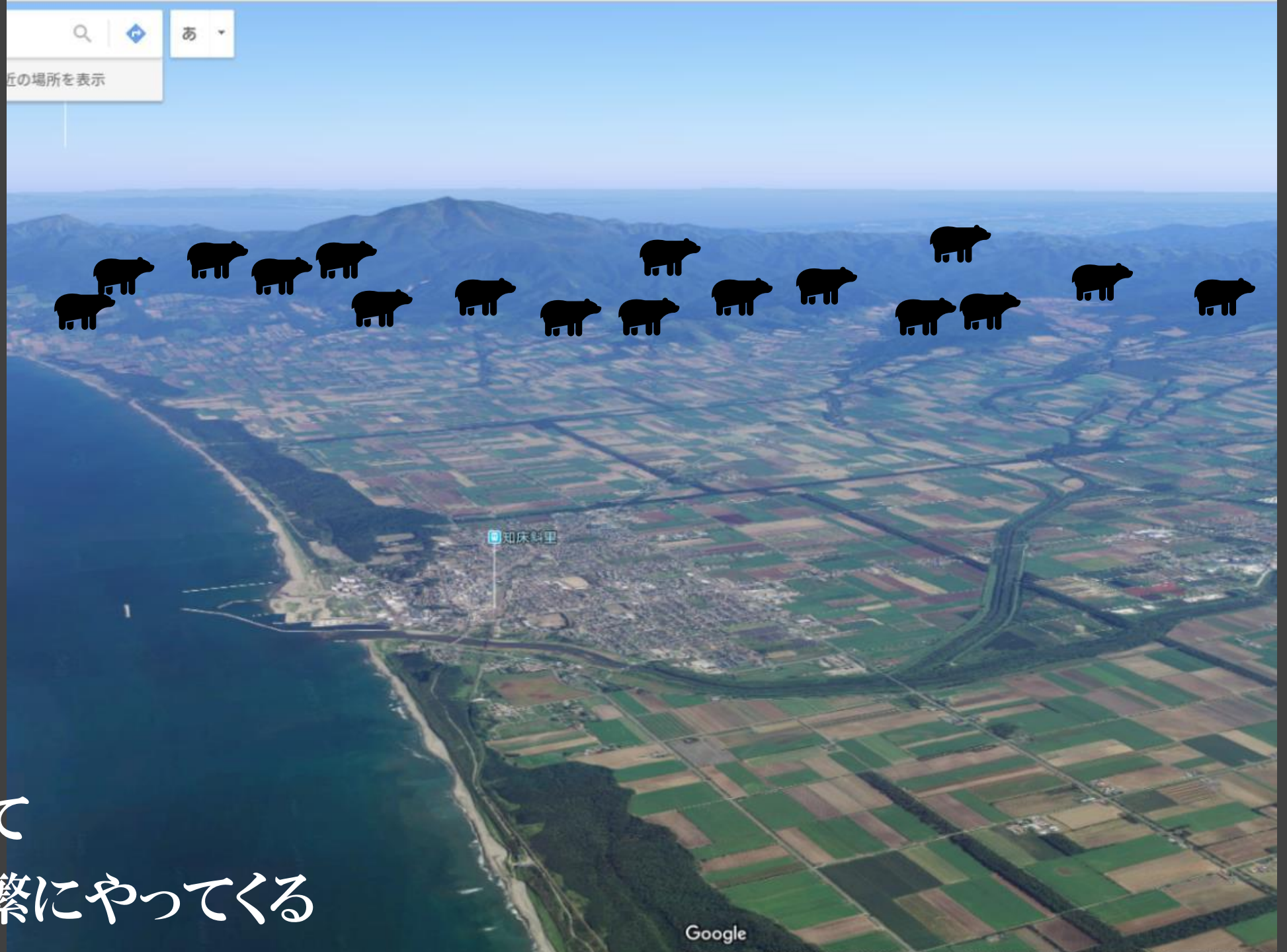
平成の30年間で**2.2倍**に増加

フェーズ1



かつての状況
(約30年前)

フェーズ2



緑をつたって
ヒグマが頻繁にやってくる

フェーズ3



住宅地や農地の周辺でヒグマが繁殖する

トラブルが増加しているのはなぜ？

- ヒグマの生息数の増加・生息域の拡大
 - 中山間地の人口減少
 - ハンターの高齢化
 - 保護政策の成功

行動変化は人の生活圏近くで暮らす
ようになった結果、副次的なもの



ヒゲマによる被害の実際

- 人身被害(死亡・負傷)
- 生活環境被害(住宅地への侵入)
- 経済被害(農作物被害・建造物被害など)
- 自然環境被害(植物の消失、土砂流出など)
- 健康被害(SFTS、エキノコックスなど)

ヒグマによる人身事故

表 2-1-1. 北海道におけるヒグマによる人身被害統計 1955-2006

期間(年度)	死亡	負傷
1955-59	1	17
1960-64	14	28
1965-69	8	10
1970-74	8	8
1975-79	6	7
1980-84	0	6
1985-89	1	6
1990-94	2	5
1995-99	1	8
2000-04	4	6
2005-09	6	9
合計	51	110

日本クマネットワーク
「人身事故情報のとりまとめに関する報告書」より

- ・ 狩猟者
- ・ 山菜やきのこ取り
- ・ 山林作業中の事故



2021年は9例 14名(死亡4、負傷10)
2022年は3例 4名(負傷4)
2023年は6例 9名(死亡2、負傷7)
2024年は3例 3名(負傷3)
2025年は5例 6名(死亡2、負傷4)

5年間で死亡8名、負傷28名

加えて近年は、

- ・ 住宅地での事故
- ・ 自宅近くでの事故
- ・ 登山中の事故

症例報告

創部感染を予防し得たクマ外傷の1例

96

川合 唯^{1,2}, 鈴木 祐輔¹, 倉上 和也¹, 欠畑 誠治¹

¹山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

²米沢市立病院耳鼻咽喉科

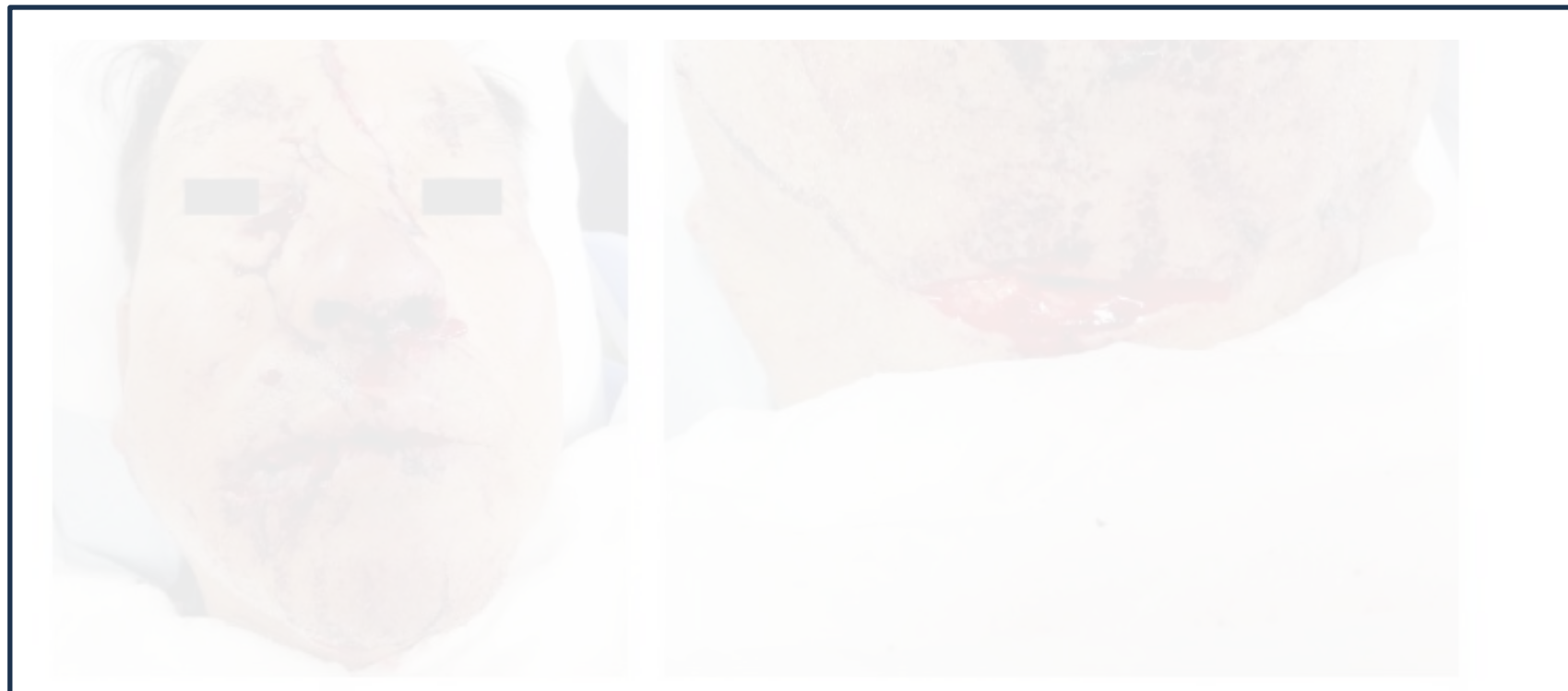
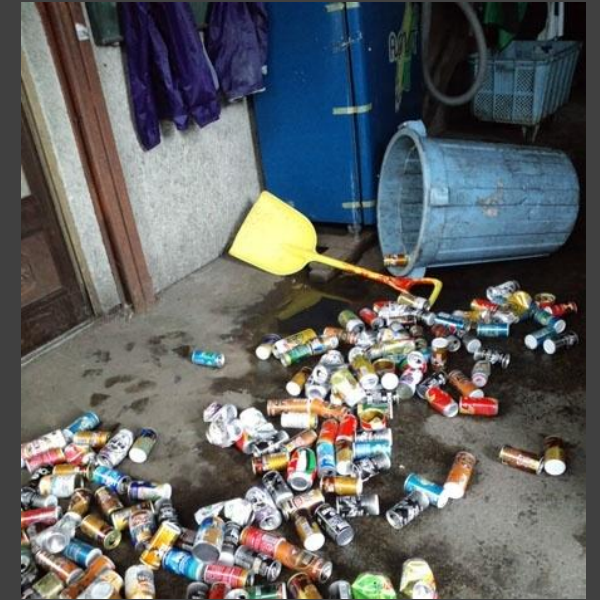


図1 受診時。前額部・右眼内下方・鼻翼左側・下口唇・下顎部・左前腕に挫創を認めた。

生活環境被害



スイッチが入る！



ヒゲマによる農業被害



ヒゲマによる農業被害はデントコーンやビート、小麦、牧草等

鳥獣被害対策の3本柱

鳥獣被害対策の3本柱

- 鳥獣被害対策は、**個体群管理**、**侵入防止対策**、**生息環境管理**の3本柱が基本。
- この活動を地域ぐるみでいかに徹底してできるかが、対策の効果を大きく左右。



- 個体群管理(捕獲)
- 侵入防止対策(防除)
- 生息環境管理

↓
安心や安全の確保

ヒグマの場合は…

- 生息数増加と生息エリア拡大を背景に
人の活動エリア（住宅地や農地）への出没が頻発
→人とヒグマの生活が隣り合うことで、ゴミや食べ物に
関連するトラブルが発生



ヒグマの**頭数を減らすこと**（**個体数調整**）
侵入しにくい状況を作る（**生息環境管理**）
トラブルが起きないようにする（**防除**）

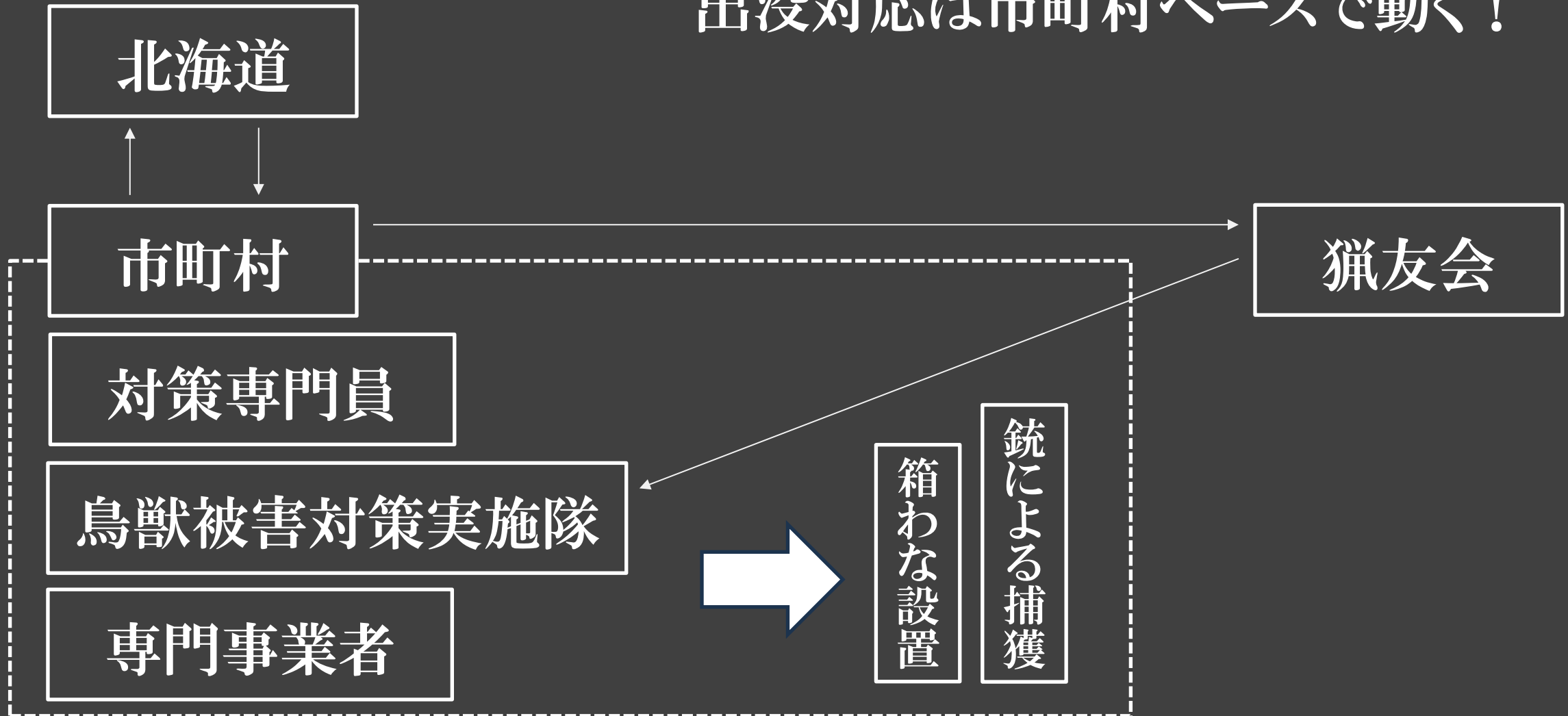
そのためには…**技術者（仕組み）**が必要



ヒグマの捕獲作業について

捕獲作業の実際

出沒対応は市町村ベースで動く！



ヒゲマの捕獲作業の方法

- 銃器による捕獲

- 出没毎に柔軟に対応できる
- 捕獲に至るまで高い技術が必要、見通しが悪い状況・親子への対応等々、高いリスクも伴う
- 夜間の出没には対応できない

- 箱わなによる捕獲

- 銃器と比較し安全かつ容易に作業できる
- 設置や見回りに労力がかかる
- 設置場所に制約がある



銃器による捕獲

- 主な対象は“山”よりも、農地や住宅地周辺(有害捕獲の場合)
- 主な手法
 - 流し猟：被害が発生している農地を確認していく
 - 待ち伏せ：被害が発生する農地で待ち伏せする
 - 巻き狩り：一定範囲に勢子をかけて待ちに追い出して捕獲
 - 忍び猟：ヒグマがいそうな場所に入って捕獲する

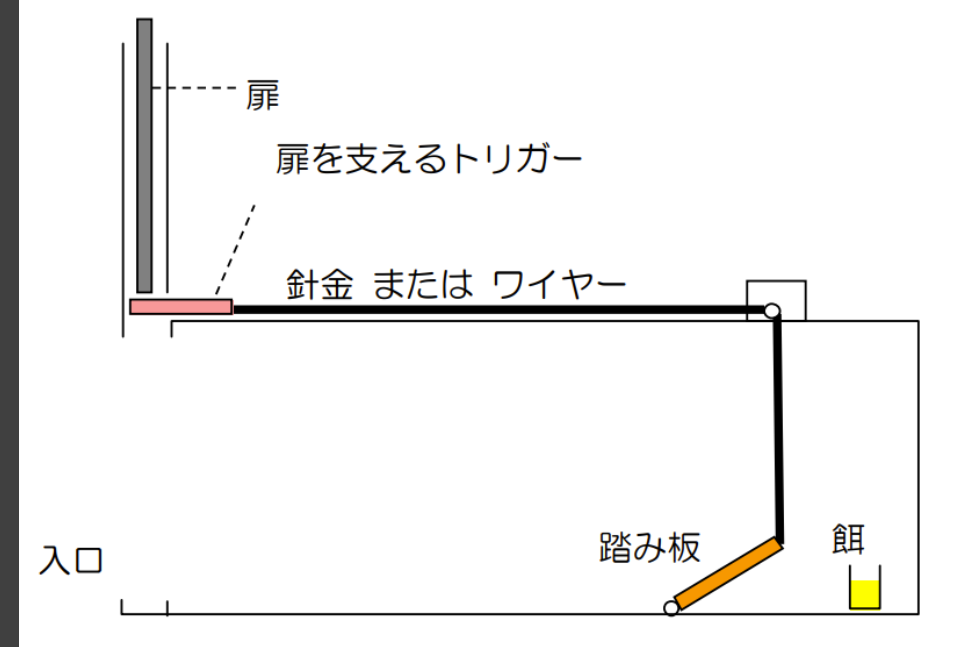
ハーフライフル銃またはライフル銃を使用

単独～複数人、バリエーションあり

忍び猟は難易度も高く、リスクも高い



箱わな

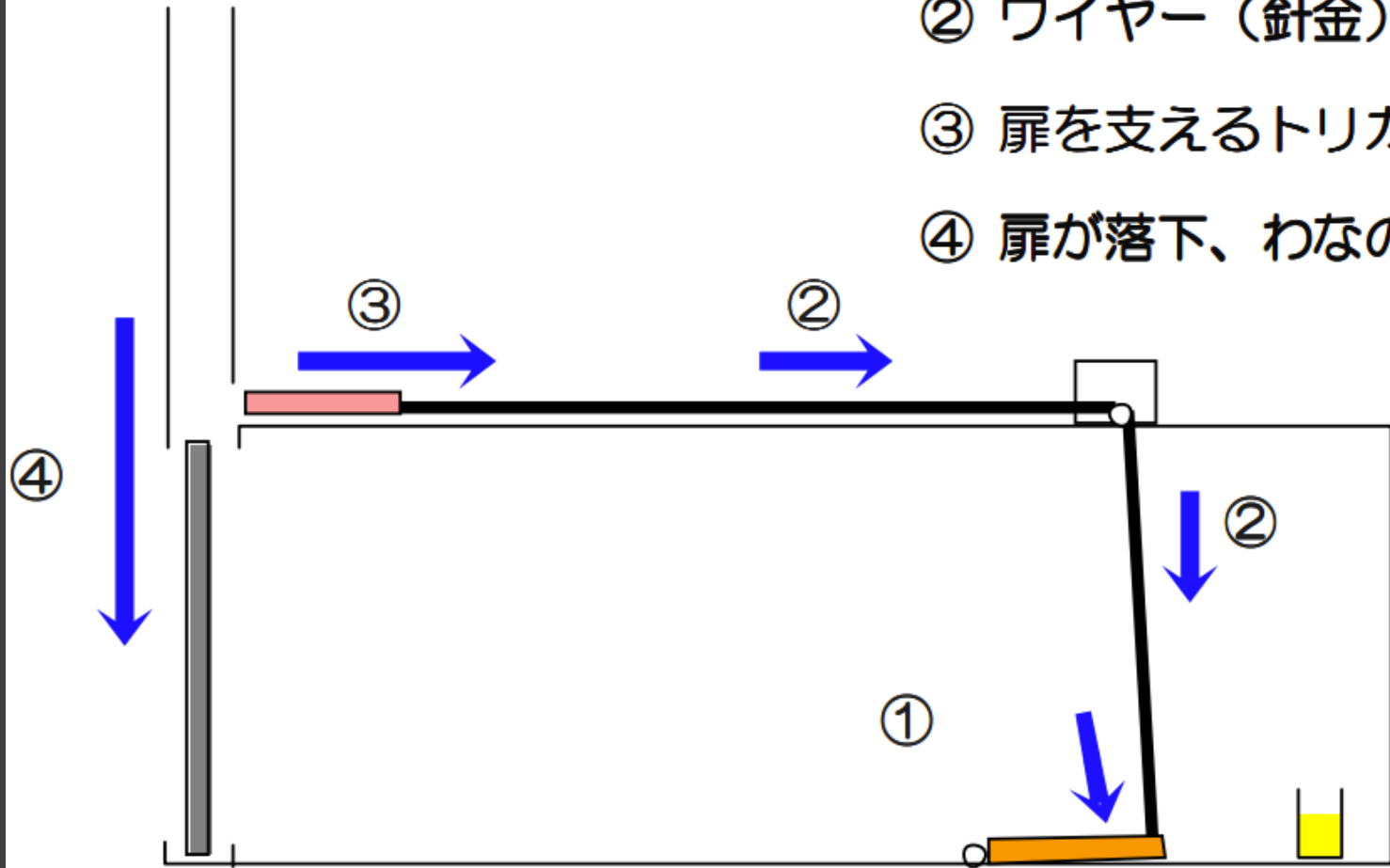


出没地点の周辺に設置、定期的に餌を追加
カメラやセンサー等で状況を把握

箱わなの構造

- 捕獲時の作動 -

- ① 踏み板が 踏まれる
- ② ワイヤー（針金）が引かれる
- ③ 扉を支えるトリガーが抜ける
- ④ 扉が落下、わなの入口を閉鎖



ヒグマ捕獲作業（銃）におけるリスク

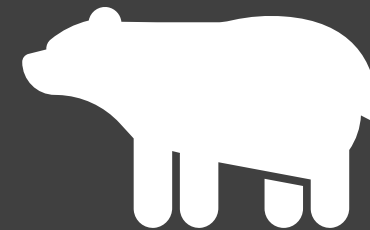
ヒグマ捕獲作業（銃）のリスクは2種類

法令違反による
逮捕送検
＝許可の取り消し

自身や仲間がケガをする
＝傷害・死亡事故
（ヒグマ・銃など）

銃による事故、ヒグマによる事故は
重大になりやすい



ヒグマの捕獲作業(銃)における 段階別の危険度(ヒグマ)




• 下見・探索

- 低リスク 
- 油断大敵、ヒグマ撃退スプレーの活用




• 巻き狩り・追跡

- 中～高リスク  
- 単独の場合は要注意(やらない)
- 追い詰める段階が最も危険
- クマに圧をかける場合(犬を使うなど)は要注意

• 発砲する

- 低リスク 
- 狙点部位やシチュエーションによる発砲判断は超重要
- ときには発砲しない判断もあり
- 精神的な状況が大きく左右する

• 死亡確認

- 高リスク   
- 多くの事故が起きる場面、手負い状態で逆襲されるパターン
- 追跡は必ず複数人(+犬)、十分な体制で行う

リスクをいかに下げるか

内的な要素

- 自分自身のスペックを高める
(リスクを回避する・備える・乗り越える)



外的な要素

- クマ撃退スプレー
- 通信手段(無線)
- 仲間(猟友)
- 猟犬
- ドローン?



0か100かではない
トータルでリスクを下げる

ヒグマと遭遇した場合

- あわてない、騒がない
- (クマスプレーを手にする)
- 安全な距離まで下がる
- 可能であれば・・・情報収集
 - ・ ヒグマは怒っていないか？
 - ・ ヒグマは何頭？何をしている？どこへ移動した？
 - ・ 誘引物はないか？

同行者や仲間と連絡を取り合いながら行動する
銃の使用がさらに困難な状況を招くこともある

有害捕獲はどのように実施されている？

- 対応は市町村ごとに行っている
 - 市町村ごとの実施隊で対応(=猟友会ベース)
- 動き方はさまざま
 - 市町村職員等と捕獲従事者が一緒に動く
 - 各グループ(猟友会)が個別で動く
 - 市町村職員が専門的な技術者として動く
- 案件にも幅がある 農地・住宅地・山間部まで
- 難しい案件は警察と連携することもある

ヒグマの狙い方

【撃つ時の条件】

バックストップの有無

急所と狙い場所

発砲直後の対応と死亡の確認

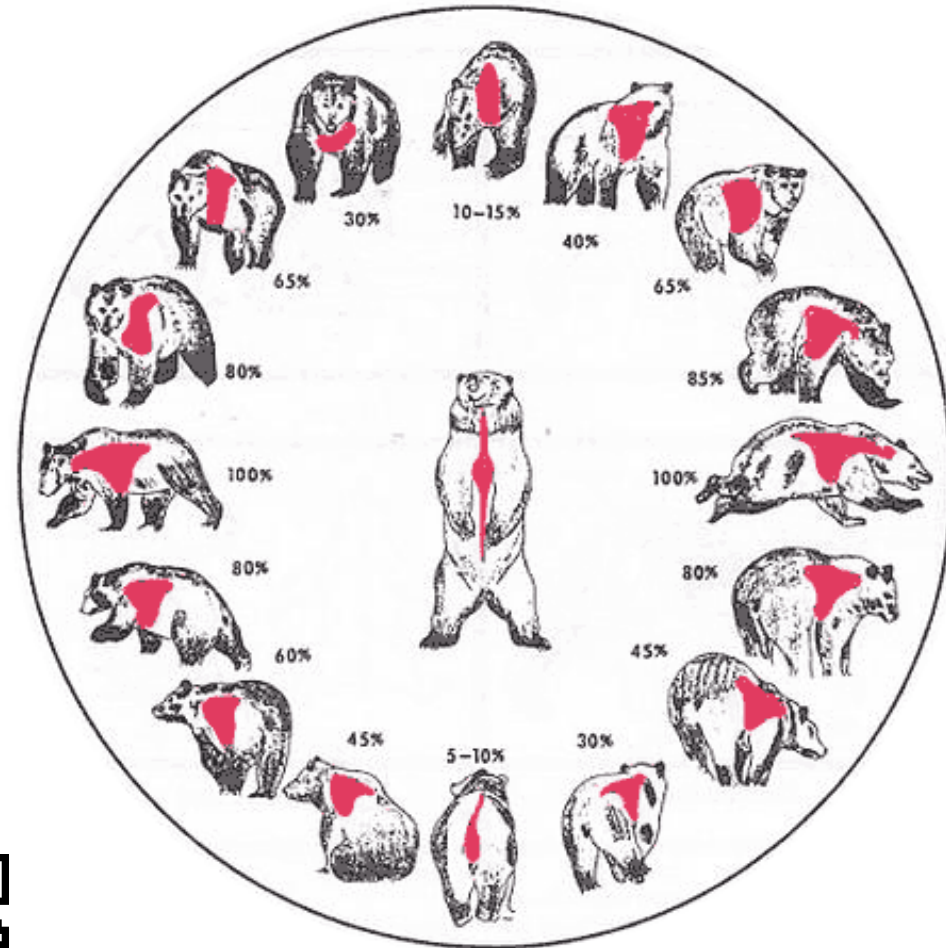
半矢ヒグマへの対応

- 追跡の準備
- 損傷の判断
- 追跡のときの注意



<http://www.ballistics101.com/camping.php>

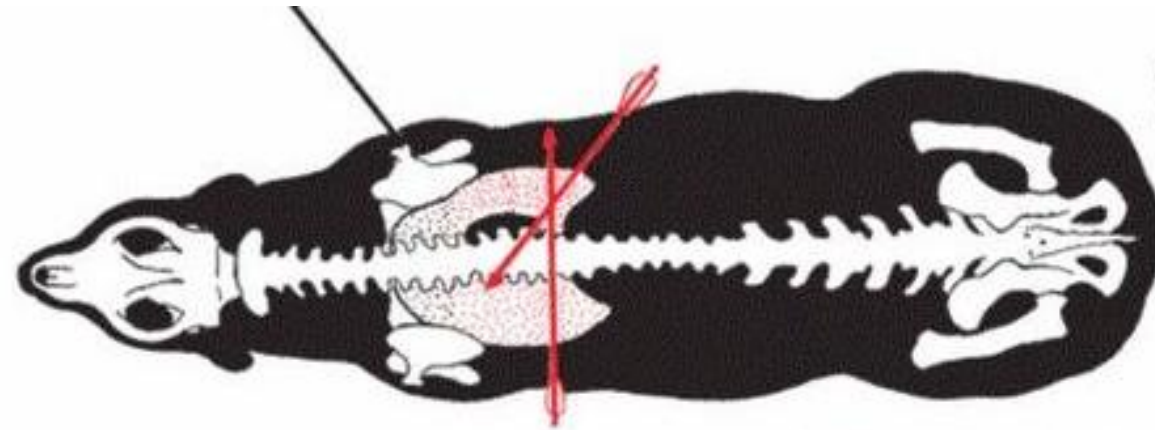
Bear Shot Placement



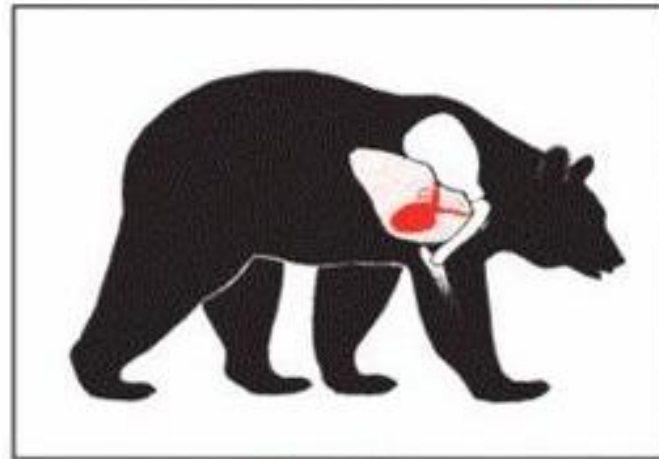
Shooting Angles

The figure next to the bear indicates roughly the amount of vital area exposed at various angles. Exposure of vital areas depends on the angle at which the bears is turned to the shooter. Broadside is the best possible angle with the most (100%) of vitals are exposed. Aim at the center of the shoulder.

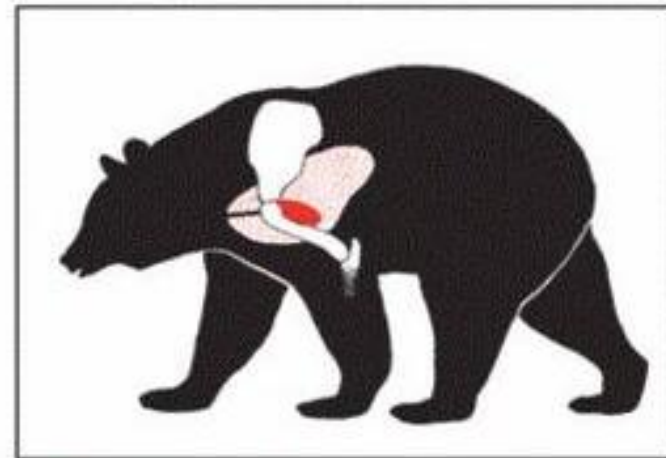
肩甲骨の位置に注意！



Gun: The quartering-away position offers several lethal targets for firearms. Further behind the shoulder is the best aiming spot. Avoid a shot that will hit the paunch area.



Gun or Bow



Wait for the near front leg to move forward.



いい状況になるまで待つ！
発砲後はすぐに弾を装填

捕獲は技術、捕獲者は技術者！

- ✓ 有害捕獲は被害に基づいて行われる“仕事”（公的な業務としての捕獲）
- ✓ 関係者（行政、警察等）と連携しながら、法令やルール（管理計画等）に基づいた対応が求められる
- ✓ 捕獲にあたっては免状や各種許可が必要
（銃の所持許可、狩猟免状、捕獲許可、指示書…etc）

知見が整理されていない分野 研修の場も多くない
自分で組み立てるタフさは必要 **でも面白い！**

実際に興味を持ったら・・・



葛西真輔



ホーム

記事

メンバーシップ

マガジン

スキ

プロフィール

月別

新着

人気

2005年にIターンで知床に移住、地域団体にシカやヒグマ対策にとっぷり浸かり17年間、2022年に野生動物の調査や捕獲を行う専門会社「ワイルドライフプロ」を起業。

お問い合わせはこちらどうぞ

<https://www.wildlifepro.jp/contact/>

82 フォロー 86 フォロワー



設定

マガジン >



仕事の進め方アイデア

0本

公開中

固定された記事



自己紹介 | ヒグマ・シカ対策の実働部隊として

葛西真輔 3か月前

37



クマの緊急銃猟の適用範囲は意外と狭い！？#046

葛西真輔 7時間前

7



シカの囲いわな捕獲に最適な時期はいつ？春～秋はいけるのか？#045

葛西真輔 2週間前

12



「封鎖できません！」羅臼岳登山道とレインボーブリッジに見



テクノロジーだけじゃない！創意工夫で切り拓くシカ・ヒグマ



北海道知床のヒグマによる農業被害－現実から見える課題と